

事業所名 イストワール鴻巣小松教室

公表日 令和8年 1月 16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・人数や活動内容によって、机などを移動させたり配置の工夫をその都度している。 ・スペースの維持を意識している。	・人数が多いと狭く感じてしまうこともある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・子どもの利用人数等に応じてシフトが組まれている。 ・連携をしながら一人ひとりを見れる体制を整えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・手つなぎ等で対応している。 ・机の端にスポンジをしたり、安全に配慮している。 ・可視化しているものや、絵カード壁面等にて様々な配慮されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・季節ごとに楽しめるような飾り付けをしている。 ・毎日の掃除や消毒作業が徹底されている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・子どもの状況に応じて対応できる環境である。個室等も使用できる。 ・安全に配慮できるように環境が整っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・職員同士で業務についての話し合いが日頃から行われている。 ・朝礼等の時間でも利用者についての情報が共有出来ている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎日朝礼を活用し、行っている。 ・アンケートを行い、「どちらでもない」「いいえ」と言う回答があった際には面談時にお伝えしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・朝礼にて情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・朝礼等の時間を使い、研修を行っている。 ・研修に参加する機会を設けていたりされている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・個別支援会議にて職員と情報を共有しながら作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・朝礼にて共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・毎日の朝礼にて行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・子どもの状況や時期などに合わせて立案が行われている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・固定化しないようにプログラムを変更しながら活動している。 ・多様な活動を考え、実践している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・状況を見て支援の内容を変更しながら、個別活動と集団活動に参加出来る様になっている。 ・1日の中で個別・集団を計画的に取り入れられている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・活動内容や送迎についての確認がしっかりとされている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	13%	・次の日に必ず振り返りを行っています。	・時間が十分に取ることが難しい為簡易的になっている。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・職員間でお互いに情報共有しながら務められている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	状況の確認を行い、定期的に計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・言葉かけを良くし、選択する事が出来るように問いかけしている。 ・おやつにて自分の好きなおやつを決められた金額の中で選ぶなどの活動を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・会議における話し合いの内容を他職員にも共有がしっかりとされている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・学校訪問等を行い、現状の共有を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・送迎時を中心に連絡がしっかりとされている。今後、さらに徹底していく。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	25%	75%		・今後の課題として取り組んでいく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・先方から声がかかった時は訪問等を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	38%	63%		・今後の課題として取り組んでいく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	・公園等に行ったり兄妹に来てもらったりしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日々の様子を細かく共有出来る様に送迎等の時間や面談で行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	38%	63%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	対面での伝達や連絡帳を通した説明が行われている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	日頃から保護者と意志共有をしっかりと行い、面談などの機会も定期的に行われている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・早急に動きに対応できるように心掛けて行っている。 ・日頃から密に連絡が取られていて支援につなげられている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	・兄妹同士での交流する機会の支援は行われている。	・保護者同士の交流はあまり行われていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・1日で起きたことは隠さずに説明を行っている。 ・情報を職員間で共有する事で迅速な対応に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・ホームページ、SNSに活用させるための写真などを積極的に取っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・書類やデータの扱いを徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・細やかに連絡を取るようになっている。 ・絵カード等を活用して最善の配慮に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	・地域で行われるイベントに参加している。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・防災訓練が行われていたり、対応についての説明がされている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・訓練や避難を子ども達と共に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・服薬等の状況も確認し、共有している。 ・保護者職員同士で適切に状況の共有を取ることが行われている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	現在はいないが、過去に対応していた。準備の態勢は整っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・危なかったことなどを直ぐに共有している。 ・打ち合わせの時間を中心に共有と話し合いが行われている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・毎日研修を行っているが、同じ内容も繰り返し復習している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・虐待についての話し合いと共に組織で共有している。	